
断片物語

乃神 夢亜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

断片物語

【Nコード】

N8886Y

【作者名】

乃神 夢亜

【あらすじ】

物語を書こう。今を閉じ込めるために。夢でもいい。失いたくないから。

始まり

お話を書こう。鉛筆でノートに。

今を無くさないように、閉じ込めてしまおう。

失うことが怖いのなら、嘘でもいいから夢を見せて。

幻想だなんて、虚構だなんて、嫌がらないで。

其れを君が信じるのなら、嘘だって本当になるさ。

だって、其れが君の真実となるのだから。

貴方の真実なんて脆いモノよ。

だって、それは事実ではないでしょ？

貴方だけの世界なんて、すぐに壊れる。

世界が壊れたら、作り直せばいい。

夢なんて何度でも描けるのだから。

夢だと認めてしまえば、楽になる。

少女

友達が欲しかったから、ただそれだけ。
それだけだったの。なのに……

『いろんな声がするの？』

『直さないといけないね』

『その子たちが言うの？』

……なんで？なんで、そんなことを言うの？
悪く言わないで、優しいの。優しいの……。

ねえ、頭の中で皆と話すのは、おかしいんだって。
楽しいのにね、心配するの。どうしてかなあ？

「だから言ったのに」

うん。そうだね。貴方は言ってた。

「楽しいのにね、ダメなんだ？」

そうダメなんだって。

「アレがダメだったんじゃない？」

うん。あれ（リストカット）がダメだったんだ。
私は、別にどうだって良かったんだけど。

「お前は、だろ？」

……そうだね。私は、どうでも良かった。

シャッ

剃刀のキャップが擦れて音を立てる。

銀色の刃が光を反射して綺麗。

グリッ……

手首に押し付けるように刃を当てる。

しばらくして、齒を退けると赤く痕が残った。

指で広げるようにして、そこを引っ張る。

白いソレは、しばらくすると赤く染まり、ジワリと液体が滲んだ。

その液体が手首から落ちる前に、絆創膏をはり、上着を羽織る。

剃刀を机の中にしまって、ゴミを捨て、近くにあった本を手取る。

「ご飯よー！」

下から母の声がする。

「はいー！」

明るい声で返事をし、下へ降りる。

いつも通り、いつも通り……。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8886y/>

断片物語

2011年11月26日19時47分発行